

# 大雪山高山植物調査

## 士別報告会.2015

「地球温暖化」という言葉を、よく耳にしますね。大気や海洋の平均温度の上昇のことですが、生物圏内の生態系の変化や海面上昇による海岸線の浸食など、様々な影響が指摘されています。温暖化は、長期間の観測が欠かせませんが、高山帯では温暖化の影響は寒冷生態系で最も顕著であること、人間活動の直接的影響が低く、地球環境変化を検出しやすいことなどから、「高山生態系は地球環境診断のリトマス紙」といえます。大雪山で現地調査を実施し基礎データを収集しているわたしたち登山者グループは10年間毎年報告会を実施してきました。この度士別市内で実施いたします。2014年夏に調査した最新データを元に解析された結果を工藤岳准教授が報告します。是非ご来場ください。

講演：工藤 岳 准教授（北海道大学大学院地球環境研究院）

お 話：「高山植物の特徴と生態」 住吉 久（アース・ウィンド調査員）

日 時：2015年5月16日(土)午後1時半～午後3時半（予定）

※開場 13:00、開演 13:30

会 場：士別市生涯学習情報センターいぶき視聴覚室（参加費無料）、

5/15（金）までに士別市立博物館（0165-22-3320）に申込。定員なし。

### 地球温暖化の影響

#### お花畑へのチシマザサの侵入

「大雪山五色が原」では、お花畑が衰退しています。雪解けの早まりによる土壌乾燥化が、チシマザサの分布拡大をもたらしたのではないかと考えられています。



19年間  
の変化



#### キバナシャクナゲの花の凍害

「トムラウシ山ヒサゴ沼」では、凍害によりキバナシャクナゲの花が枯れていました。春の温暖化→開花開始時期の早まりに伴い、凍害の危険性が增大しています。



主 催：アース・ウィンド

〒069-0803 江別市野幌屯田町 10-11

[yokosuka@e-wind.org](mailto:yokosuka@e-wind.org)

共 催：士別市立博物館

〒095-0056 士別市西士別町 2554

Tel/fax:0165-22-3320